

幼児曲のピアノ演奏における効果的な学習方法
—指使いと音型に着目した指のポジション移動による学習方法の有効性—

Effective Learning Method in Piano Performance for Children's Songs
Effectiveness of Learning Method Based on Finger Position Movement Focusing on
Fingering and Sound Patterns

木本 雅子
Masako Kimoto

要約

保育士や幼稚園教諭を目指す教員養成校において、ピアノ実技は必須科目である。多くの学生はピアノの初心者としてスタートし、短期間での幼児曲の習得に苦勞している。これまでの指導法では、左手の伴奏を簡単にすることで学習の難しさを軽減しようとするアプローチが主流であった。しかし、筆者は右手での旋律演奏の習得が解決の鍵であると考え、新しい学習方法を提案する。この方法では、旋律を指使いや音型に基づいてパターン化し、そのパターンからポジション移動を導き出し、導き出したポジション移動をもとに難易度を段階的に上げながら学習を進める。このアプローチを実践した結果、学生たちの学習効果が向上し、初心者だけでなく、ピアノの経験者にもその有効性が確認された。さらに、学習意欲の増加や、この方法を他のピアノ曲の学習にも応用する可能性が示された。

キーワード 幼児曲 ピアノ 指使い ポジション移動

はじめに

保育士、幼稚園教諭等の養成校では、多くのピアノ初学者である学生が在籍している。それら

の学生にとって、限られた時間の中で、現場で生かすことの出来る多くの幼児曲等のレパートリーを身に付けることが難しいと言う課題を抱えている。そのような課題に対して、多くの養成校では、初学者にとっての難しさを軽減する為、左手の伴奏に着目して、平易な編曲或いは和音伴奏に変える学習方法が、解決策として進められていることが多い。しかし、左手の伴奏を簡易にしても、右手の旋律部分の難しさは解決しない。特に、歌唱のための旋律は、ピアノ演奏のために作曲された楽曲とは異なり、「弾きやすい」旋律にはなっていない。そこで、左手ではなく、右手の旋律を容易に弾けるようにすることこそが、課題解決に繋がるのではないだろうか。

例えば、右手の旋律がドレミファソの5音から成る曲では、初学者でもすぐに演奏出来るようになるが、6度以上に音域が広がると、すぐに奏することが困難になってしまう。なぜならば、5音から成る旋律の場合、5本の指をその5音に固定して動かせば良いが、その音域を超える場合、何らかの方法で指使いを変える、つまり手のポジション移動が必要に成るからである。しかし「どんぐりころころ」のような5音以上の音域から成る曲を学習中の初学者に、曲が2つのポジションの移動で弾けることを説明すると、すなわち、1-2、5-6小節はドレミファソのポジションに、3-4、7-8小節では、ミソラシドのポジションに置いて弾くように指導すると、すぐに容易に弾くことが出来る。学生はポジションの移動で容易に弾けたことに、驚き、喜びを感じて、奏する。初学者にとって、楽譜を見てすぐに指使いと音型を関連させてポジションのパターンを見つけ出す事は難しいと思われる。故に、①幼児曲を、指使いと音型によってパターン化し、②そのパターンからポジション移動を導き出し、③導き出したポジション移動のパターンを平易なものから難しいものへと並べ、④この並びによって学習を進めて行けば、効率よく短期間に多くのレパートリーを増やすことが可能になるのではないかと思われる。

このことより本論では、指使いと音型のパターンによるポジション移動を学生が意識して、幼児曲に取り組むことが、幼児曲の学習を進めていく上で有効であるかを、授業のアンケート等の

結果を通して明らかにしていきたい。

1. 先行研究の検討

まず、指使いに着目した先行研究を見ると、以下のようなものがある。

仲嶺（2014）は、幼児曲に指使いを付した、サブノートを副教材として導入し、「副教材、『こどものうた課題曲指使いサブノート』に関する『導入アンケート』と『活用アンケート』を通して、指導者側においては『レッスン時の指使い指導の効率化』、学生においては『自主練習の参考資料としての有効利用』の現状を明らかにすることができた」と述べている（p. 140）。竹内（1994）は、小学校共通教材の伴奏部分についての指使いを提案している。木村（2020）は、「5本の指で様々なメロディや伴奏を弾くので、合理的な指使いでスムーズに弾けるように指導することが大切である」と述べている（p. 36）。鎌田（2023）は、バイエル等のピアノ基礎教本の初期段階から指使いに焦点を当てた指導を行うことにより、学生が指使いを意識し、演奏表現が向上すると述べている（p. 25）。以上は教則本或いは幼児曲の伴奏譜における両手の指使い等、左手伴奏部分を含めた指使いについての研究となっている。次に、右手旋律に注目した指使いの研究については以下のようなものがある。

三宅・岩口（1998）は、1997年の研究について「幼児曲の右手の弾きにくさは、ピアノ学習年数や進度的ような弾き手側の要因よりも、フレーズそのものの構造に依拠する」と述べ（p. 170）、岩口・三宅（1998）では、幼児曲の右手旋律の運指技術の習得を、バイエル教材の中で応用できるかについて分析、比較し、「バイエルにない『第1指－第2指間以外の隣接する指間における指広げ』『指広げ（指ちぢめ）が連続する運指パターン』『指広げと指ちぢめが連続するパターン』『指広げ（指ちぢめも含む）と同音連打が連続する運指パターン』『指広げ（指ちぢめ）と指くぐり・指まわしが連続する運指パターン』『3度離れた指くぐり・指まわし』の運指練習を、幼児歌曲に

において頻出度の高いへ長調やハ長調、ニ長調、ト長調を中心として調性において補っていくことが必要となるであろう」と述べている (p. 171)。井上・中山・錦 (2013)は、小学校共通教材の旋律についての指使いを、左手の指使いと連動させた指使いにする等5つの観点から提案している。村木 (2013)は、小学校共通教材の運指と一般的な運指論から導かれる独自の運指案とを比較し、独自の運指案が入門者の学生に多く見られた5の指についての困難を改善することが可能であることや運指等の実践には個別対応も重要な対策であると述べている。三好(2009)は幼児曲を学生の運指傾向調査から右の旋律における運指パターンを 1235「ミソラド」の指使いを提案し、有効性について述べ、三好 (2012)では、その実践を通して、学生の運指傾向について述べている (pp.100-101)。

三宅・岩口(1998)では、ポジションのパターンの拡張について議論しているものの、それを詳細に分析し、難易度順に分類する作業は行われていない。そこで筆者は細かく幼児曲を分析し、①②③④の分析と分類を行った。

2. 幼児曲にみられるポジション

表1はS短大で教材としている曲集^①から季節の歌(4月～3月)とマーチの全81曲を対象に、それぞれの曲がいくつのポジションから成っているのかを調べ、一覧にしたものである。このうち、2つのポジションから成る曲は16曲、3つのポジションから成る曲は24曲であった。

半数の40曲が3つまでのポジションから成っていることになり、類似した指使いと音型のパターンを意識して効率よく学習していけば、かなりのレパートリーを持つことが可能であるといえるだろう。よく知られた「思い出のアルバム」も12345指を隣あった5音の組み合わせ(ドレミファソ、レミファソラ、ファソラシド、ソラシドレ)に置いたまま、ポジションを移動することで弾けるので、4つのポジションではあるが、ポジションを意識する学習に慣れてくれば、それ

ほど苦にならずに弾けると思われる。

表1. 幼児曲のポジションによる分類

* 数字は指使いを示す

2 つ の ポ ジ ン ヨ ン	ハ長調		
	あくしゅでこんにちは	ドレミファソ12345	ミファソラ1234
	むすんでひらいて	ドレミファソ12345	ミファソラ1234
	小犬のマーチ	ドレミファソ12345	ミファソラ1234
	かえるの合唱	ドレミファ1234	ミファソラ1234
	チューリップ	ドレミソ1235	ミソラ134
	どんぐりころころ	ドレミファソ12345	ミソラシド12345
	とんぼのめがね	ドレミ123	ミソラド1235
	めだかの学校	ドレミソ1235	ミソラド1235
	朝のうた（おはよう）	ドレミソ1235	ミソラシド12345
	おててをあらいましょう	ドレミソ1235	ドミソラ1245
	きらきら星	ドレミファソ12345	ドソラ145
	うちゅうせんのうた	ミファ（ファ#）ソラド12345	ファソラシド12345
	ロンドン橋	レミファソラ12345	ドミ12
	ヘ長調		
	かわいいかくれんぼ	ドファソラド12345	レファソラ1234
	山の音楽家	ドファ13	ファソラシド12345
	雪	ファラシドレ12345	ファソラシド12345
3 つ の ポ ジ ン ヨ ン	ハ長調		
	かたつむり	ドレミソ1235	ミファソラ1234 ミソド125
	おべんとう	ドレミソ1235	ドレミソラ12345 ミソラド1235
	こいのぼり	ドレミソ1235	ドレミソラ12345 ミソラド1235
	おおきな栗の木の下で	ドレミソ1235	ミファソド1235 ソラシド2345
	おかえりのうた	ドレミソ1235	ファソラド1235 ミソラド1235
	おはようのうた	ドレミソ1235	ソラドレ1245 ミソラド1235
	たきび	ドレミファソ12345	ドミソラ1245 ミソラド1235
	手をたたきましょう	ドレミファソ12345	ミファソラ1234 ラド35
	こぶたぬきつねこ	ドレミファ1234	ミファソラ1234 シドレミ1234
	おんまはみんな	ドレ（レ#）ミファソ12345	ミファソラ1234 シド（ド#）レ123
	はをみがきましょう	ドレミファ1234	ミファソラ1234 ソラドレ1245
	すうじのうた	ドレミ123	ファソラ123 ミソラシド12345
	ヘ長調		
	たなばたさま	ドファソラ1345	ファソラド1235 ドレファ124
	お正月	ドファソラ1345	ファソラド1235 ドレファ124
	まつぼっくり	ドファソラ1345	ファソラド1235レファ13
	お化けなんてないさ	ドファソラ1345	ファソラシド12345 ドレミ123
	おおきなたいこ	ドファラ135	ファラド135 ソラドレ1245
	Happy Birthday to you	ドレミファソ12345	ファソラシド12345 レミ12
	1年生になったら	ドレファソラ12345	ファソラドレ12345ソラドレ1245
	ト長調		
	うみ	ミソラシ1345	レミソラ1245 ソランレ1235
	ふしぎなポケット	レソシ135	ミファソ123 ソラシドレ12345
	幸せなら手をたたこう	レファソラ1234	レソラシド12345 レミファソラ12345
	二長調		
	おかあさん	ファラシドレ12345	ミラシ123 レミファラ1235
	豆まき	ラシレ235	レファラシ1245 レミファラ1235

3. ポジション移動に焦点をあてた指導

まず初めに導入としてポジション移動のない＜ぶんぶんぶん＞＜メリーさんの羊＞＜ちょうちよう＞から学習させ、ポジション移動のある平易なものから順に学習を進めた。ポジション移動の最初の課題曲として＜むすんでひらいて＞＜小犬のマーチ＞＜チューリップ＞を学習させた。＜チューリップ＞には、ファ音が無いが、ドソを1と5指に、ミラを1と4指に置くので他の2曲と類似したポジションとして意識させ、学習を進めていった。初学者にとって急にポジション移動が加わる曲を学習することになるが、3曲共、1度のポジション移動の後、最初の弾き慣れたドレミファソ 12345 指のポジションに戻るため、それほど難しさを感じることなく弾けるようであった。

A

3 2 1 5 4 1

む す ー ん で ひ ら い ー て て を ー う っ て む ー す ん で

B

9 1 2 4 3 2 1

ま た ひ ら い て て を う っ て そ の ー て を う え に

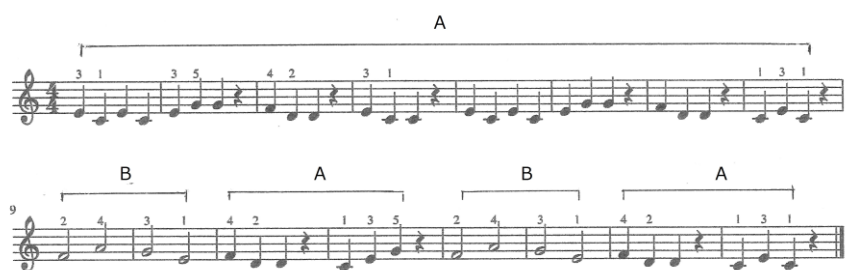
A

17 3 2 1 5 4 1

む す ー ん で ひ ら い ー て て を ー う っ て む ー す ん で

譜例 1.＜むすんでひらいて＞ドレミファソ 12345 ミファソラ 1234

作詞者不明 ルソー 作曲



譜例 2. <子犬のマーチ> ドレミファソ 12345 ミファソラ 1234

外国曲



譜例 3. <チューリップ> ドレミソ 1235 ミソラ 134

近藤宮子 作詞 井上武 作曲

次の段階として、教材として使用している曲集には含まれていないが、<こぎつね>を学習させた。その理由として、一つにはハ長調の音階を、ファを1指で弾くことにより学ぶことが出来ること、もう一つは繰り返しの旋律が多いので、平易な曲と学習者が感じ、取り組みやすいのではないかと思われたからである。中には、1指をくぐらすことを難しく感じる学生がいたが、大半の学生は苦もなく弾けることが出来た。



譜例 4.<こぎつね>ドレミファソラド 1231235 ドレミファソ 12345

勝 承夫 日本語詞 ドイツ民謡

次に、<どんぐりころころ>、<とんぼのめがね>、<朝のうた(おはよう)>に取り組ませた。<どんぐりころころ>は、初学者にとっては、16 分音符が、併用しているバイエル教則本等ではまだ練習曲として現れてこない音符であるので、難しく感じるかと多少危惧したが、誰もがよく知っている曲であるのと、ポジション移動が 2 小節ずつ交互に 2 回移動して弾けるので、ポジションを意識して弾きやすいのではないかと思い、先ず<どんぐりころころ>から学習させた。レッスン時にポジションが変わる 2 小節毎に、「移動して」「戻して」等の声かけをすると、「なるほど」などと納得して言いながら弾く学生が多かった。



譜例 5.<どんぐりころころ>ドレミファソ 12345 ミソラシド 12345

青木存義 作詞 梁田 貞 作曲

<とんぼのめがね>については、指使いを記していないものを配布した。初学者の中には配布してすぐその場で指使いを探し、早く取り組みたい様子の学生もいて、<どんぐりころころ>と同じ2つのポジションのみで出来ていると説明すると、その場ですぐに弾くことが出来、喜んでいった。また、<とんぼのめがね>は<どんぐりころころ>とは異なり、小節の初めからのポジション移動ではなく、3小節の1拍目裏拍からミソラド 1235 指のポジションに切り替え、ミを3から1と指使いを替え、又7小節の1拍目裏拍でミを1から3に替え、最初のポジションに戻るのであるが、これは<チューリップ>学習時、2つ目のポジションのミソラ 134 指で「ソソミソラソミ」迄を 33134431 指で弾き、続くミレドのミを1から3に替えるように弾かせていたことで慣れていたのか、ミミと続く音を3から1、1から3に切り替えることが、それ程違和感なく出来たように思う。

とんぼのめがねはみずいろめがね

あーおいおそらにとんだから

とんだからー

譜例 6. <とんぼのめがね> ドレミ 123 ミソラド 1235

額賀 誠志 作詞 平井康三郎 作曲

<朝のうた(おはよう)>も指使いをあえて記さず、各自で考えるように指示して楽譜を配布した。<とんぼのめがね>と最後の4小節は同じ音型でもあり、同じ指使いで弾く学生が多くいた。

このことは、これまでの学習で指使いと音型のパターンの意識が深められた結果のように思えた。

せん せ い お は よう み な さ ん お は よう

お は な も に こ に こ わ ら っ て い ま す

お は よう お は よ う

譜例 7. <朝のうた> ドレミソ 1235 ミソラシド 12345

増子とし 作詞 本多鉄磨 作曲

<おかえりのうた>はドレミソ 1235 指と<こぎつね>で現れた音階の指使いと<どんぐりころころ><とんぼのめがね><朝のうた(おはよう)>で現れたミソラ (シ) ド 123 (4) 5 指との組み合わせ、<かたつむり>は<チューリップ>で現れたドレミソ 1235 指と<むすんでひらいて><小犬のマーチ>で現れたミファソラ 1234 指、<どんぐりころころ><とんぼのめがね><朝のうた(おはよう)>で現れたミソラ (シ) ド 123 (4) 5 指の変形のミソド 125 指との組み合わせであると説明しながら学習を進めた。 2 曲とも、これまでに学んだ指使いと音型のパターンである為、ポジションが3つに増えたにも拘わらず、難しさを感じずに取り組めたように思う。



譜例 8. <おおかえりのうた> ドレミソ 1235 ファソラド 1235 ミソラド 1235

天野 蝶 作詞 一宮道子 作曲



譜例 9. <かたつむり> ドレミソ 1235 ミファソラ 1234 ミソド 125

文部省唱歌

<おおきな栗の木の下で>も3つのポジションではあるが、3小節目がミファソド 1235 指のポジション、続く4から6小節の3小節間はソラシド 2345 指、7-8小節は最初の2小節と同じ旋律である為、取り組みやすく感じられたようである。



譜例 12.<お正月>ファソラド 1235 ドレファ 124 ドファソラ 1345

東 くめ 作詞 瀧廉太郎 作曲

4. アンケート調査と考察

以上のような指導を経て、どのような効果があったのか、指導を受けた学生を対象にアンケート調査を行った。各自履修した幼児曲について、ポジション移動を知る前と後との弾きやすさの比較を問い、ポジション移動を知ることによって弾きやすくなった、弾きやすくない、変わらない、のいずれかを選ぶアンケートを授業最終回に行った。

なお、本アンケートは、筆者が勤務する2校で行った。それぞれの調査の概要については以下の通りである。アンケートの結果は表2、表3の通りである。また、アンケートについては巻末に資料1、2として掲載した。

①T大学での調査

(1)調査対象 T大学教育学部こども教育学科1回生9名（アンケート回収は8名）

(2)調査期間 2022年9月から2023年1月

②S 短期大学での調査

(1)S 短期大学仏教学科こども教育コース 1 回生 25 名（アンケート回収は 23 名）

(2)調査期間 2023 年 4 月から 7 月

表 2. T 大アンケート結果

	2つのポジション						3つのポジション		その他の履修 曲数	合計履修曲数
	むすんでひら いて	チューリップ	こぎつね	山の音楽家	どんぐりこ ころ	とんぼのめが ね	大きな栗の木 の下で	かたつむり		
経験なし	○	○					○		2	5
経験なし	○	○							1	3
3年	○	○	○		○				2	6
6年			○				○		4	6
6年	○	○			○		○	○	2	7
8年	○	○	○	△	○	△	○		2	9
10年	○	○	△	△	○	○		○	4	11
14年	○	○	○	○	○	○	○	○	4	12

(○は弾きやすくなった△は変わらないを示す)

表 3. S 短大アンケート結果

	2つのポジション							3つのポジション			2つ	3つ	合計履修曲数
	こぎつね	どんぐり ころころ	小 犬 マーチ	むすんでひ らいて	チューリップ	とんぼの めがね	朝のうた (おはよう)	おかえりの うた	かたつむり	おおきな栗 の木の下で	山の音楽家	お正月	
経験なし	△	○											5
経験なし	○	○	○	○	○	○	○	○					11
経験なし	△	△	○	○		○							8
経験なし	○	○											5
経験なし	○	○	○	○	○	○	○	○					11
経験なし	△	△											5
経験なし	○	○	○										6
経験なし	○	○											5
経験なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			13
経験なし	○	○	○	○	○	○	○	○					11
半年	○	△	○	○	△	○							9
半年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		14
3年	○	○	○	○	○	○	○	○	○				12
3年	○	○	○	○	○	○	○	○	○				12
3年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15
3年	○	△	△	○	△	—	○	—	—	—			13
3年	○	○	△	○	△	△	○	○	○				12
3年	○	○	○	○									7
3年	○	○	○	○	○	○	○						10
3年	○	○	—	—	—	○	○	○	○	○			13
3年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16
8年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16
15年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16

(—は履修したが無回答、○は弾きやすくなった、△は変わらないを示す)

考察

ポジション移動の履修曲として T 大では 8 曲、S 短大では 12 曲を対象とした。鍵盤楽器の学習経験の差異により、ゆとりのある学生では、合計履修曲数は対象曲数を上回る結果となっている。

アンケート結果から、T 大では、鍵盤楽器の経験が 8 年と 10 年の学生が 2 曲について変わらないと回答しているが、その他の曲は弾きやすくなったと回答し、他の学生は、全ての曲において弾きやすくなったと回答している。この結果からポジション移動を意識して学習させることに効果があったことがわかる。また、各自の指使いで練習をしてきた鍵盤楽器の学習経験のある学生もくむすんでひらいて><チューリップ>が類似した指使いであり、同じポジション移動であることを説明すると、「弾きやすい」と答えた反応があったが、初学者だけでなく学習経験のある学生もポジション移動を知ることによって、弾きやすくなったと感じていることがわかった。

S 短大では、初学者 10 名中 4 名が 5 曲、1 名が 6 曲と履修曲数が少ないが、このことは 5 名の内 1 名を除き、コロナ罹患等により 5 回欠席者が 3 名、6 回欠席者が 1 名おり、欠席回数に影響されているものと考えられる。

4 回欠席者は 8 曲、他の初学者は 10 曲以上履修出来ており、出席回数によって、履修曲数は増加していたと想像出来る。故に、学習方法としては初学者に有効性があったと考えられる。

S 短大では、指使いと音型のパターンの類似した曲を 1 つのグループとしてまとめて学習させるようにした。その結果、指使いと音型のパターンにも意識することが出来、一度に数曲を弾くことが出来るようになり、学習意欲が高まり、履修曲数が大幅に増えた結果となった。「ポジション移動を知ってからすごく弾きやすくなった」と感想を述べる初学者もいて、この学習方法に手応えを感じる事が出来た。

おわりに

幼児曲の習得がなかなか思うように進まない学生、特に初学者の学生が短期間で弾けるようになるための解決への学習方法として、ポジション移動の難易度別に学習を進める方法が有効であると想定して、指導を行い、その後アンケート調査を行ったが、アンケート結果や日々の学生との指導時の反応からこの学習方法が有効であることが確認出来た。また、今回、幼児曲を指使いと音型のパターンによって分類を行った際、同じ 2 つのポジション移動の曲の中にも、類似した指使いと音型を持つものがあることを発見した。学習者にそれらの曲の類似性を意識させ、類似した曲をまとめて練習させることにより、指使いと音型のパターンを強く意識させ、理解を深めることが出来、練習に取り組みやすくなることも確認出来た。数曲を同時に弾けるようになり、学習意欲を高めることにも繋がった。その結果、学生達は短期間で多くの幼児曲のレパートリーを習得することが出来た。

なお、本研究では、詳しく触れられなかったが、ポジション移動のパターンを難易度順に並べる時の基準等については次の論文で詳しく述べていきたい。

注

- (1) 神原雅之・鈴木恵津子編著 改訂幼稚園教諭・保育士養成課程「幼児のための音楽教育」
教育芸術社 2018

引用文献

井上ヒロミ・中山侑気・錦かよ子 (2013) 「教員養成校におけるピアノ初心者を対象とした実践的支援 2—小学校『歌唱共通教材』の指使いについて—」 皇学館大学教育学部研究報告集 5,

pp.83-114.

岩口摂子・三宅義和（1998）「保育科学生へのピアノ指導法の基礎研究(2)―運指法を出発点とする指導の可能性②―」日本保育学会大会研究論文集 51, pp. 170-171.

鎌田千佳（2023）「ピアノ初学者に対する指使いに焦点を当てた指導について ある学生の指導観察からの考察」千葉敬愛短期大学紀要 45, pp. 17-27.

木村裕子（2020）「幼稚園教諭・保育士を目指す学生のためのピアノ指導法―愛情ある教育指導―」千葉敬愛短期大学紀要 42, pp. 35-39.

竹内アンナ（1994）「ピアノの運指とその扱いについて」千葉敬愛短期大学紀要 16, pp. 155-158.

仲嶺まりこ（2014）「子供のうた弾き歌い指導における副教材の活用について―「指使いサブノート」導入の試みを通して―」別府大学短期大学部紀要 33, pp. 133-141.

三宅義和・岩口摂子（1997）「保育科学生へのピアノ指導法の基礎研究(1)―運指法を出発点とする指導の可能性①―」日本保育学会大会研究論文集 50, pp. 562-563.

三好優美子（2009）「子どもの歌のピアノ演奏時における『ミソラド＝1235』ポジションの有効性」東京女子体育大学・東京女子体育短期大学紀要 44, pp. 67-75.

三好優美子（2012）「子どもの歌のピアノ演奏における運指指導の取り組み―『ミソラド＝1235』ポジションの実践を通して―」東京女子体育大学・東京女子体育短期大学紀要 47, pp. 95-101.

村木洋子（2013）「歌唱共通教材（小学音楽）旋律の運指について―ピアノ入門者のための―」山梨県立大学人間福祉学部紀要 8, pp. 49-56.

資料1. T大で行ったアンケート

ピアノアンケート

(1)入学までにピアノ、エレクトーンなどの鍵盤楽器の経験はありますか。有る、
無いを○で囲んでください。 有る 無い
有ると答えた人はおおよそ良いので学習経験の期間をお答えください。
()

(2)教則本について
授業開始から今までのレッスンで到達した最終曲をお答えください。期末テスト曲で結構です。

(例、バイエル35番)()

(3)弾き歌い曲について
指のポジションの移動を知ることによって弾きやすくなりましたか。
以下の各曲について弾きやすくなった、弾きやすくない、変わらないのいずれかを○で囲んでください。

* 履修した曲についてのみ回答してください。

* 数字は指使いを示します。

1、2つのポジション移動

①むすんでひらいて	ドレミファソ	ミファソラ
	12345	1234
弾きやすくなった	弾きやすくない	変わらない
②チューリップ	ドレミソ	ミソラ
	1235	134
弾きやすくなった	弾きやすくない	変わらない
③こぎつね	ドレミファソ	ファソラド
	12345	1235
弾きやすくなった	弾きやすくない	変わらない
④山の音楽家	レソ	ソラシドレ
	13	12345
弾きやすくなった	弾きやすくない	変わらない
⑤どんぐりころころ	ドレミファソ	ミソラシド
	12345	12345
弾きやすくなった	弾きやすくない	変わらない
⑥とんぼのめがね	ドレミ	ミソラド
	123	1235
弾きやすくなった	弾きやすくない	変わらない

2.3つのポジション移動

①大きな栗の木の下で	ドレミソ	ミファソド	ソラシド
	1235	1235	2345
弾きやすくなった	弾きやすくない	変わらない	
②かたつむり	ドレミソ	ミファソラ	ミソド
	1235	1234	125
弾きやすくなった	弾きやすくない	変わらない	

資料2. S短大で行ったアンケート

ピアノ弾き歌い曲についてのアンケート		No.1
氏名 ()		
授業で弾き歌い曲を学習しましたが、「こぎつね」では、ハ長調の音階の指使いを使って、1の指をファの音に置いて弾くポジションと12345指をドレミファソに置くポジションの移動で弾けることや「どんぐりころころ」では12345指をドレミファソとミソラシドに置いて、2種類のポジションを移動することによって弾くことを学習しました。この指のポジションの移動を知ることによって弾きやすくなりましたか？ 各自履修した曲について、弾きやすくなった、弾きやすくない、変わらないのいずれかを○で囲んでください。 * 数字は指使いを示します。		
1、2つのポジション移動		
(1)こぎつね	ドレミファソ 12345	ファソラド 1235
弾きやすくなった	弾きやすくない	変わらない
(2)どんぐりころころ	ドレミファソ 12345	ミソラシド 12345
弾きやすくなった	弾きやすくない	変わらない
(3)子犬のマーチ	ドレミファソ 12345	ミファソラ 1234
弾きやすくなった	弾きやすくない	変わらない
(4)むすんでひらいて	ドレミファソ 12345	ミファソラ 1234
弾きやすくなった	弾きやすくない	変わらない
(5)チューリップ	ドレミソ 1235	ミソラ 134
弾きやすくなった	弾きやすくない	変わらない
(6)とんぼのめがね	ドレミ 123	ミソラド 1235
弾きやすくなった	弾きやすくない	変わらない
(7)おはよう (朝の歌)	ドレミソ 1235	ミソラシド 12345
弾きやすくなった	弾きやすくない	変わらない
(8)山の音楽家	ドファ 13	ファソラシド 12345
弾きやすくなった	弾きやすくない	変わらない

氏名 ()

2.3つのポジション移動

(9)おかえりのうた ドレミソ ファソラド ミソラド
 1235 1235 1235
 弾きやすくなった 弾きやすくない 変わらない

(10)かたつむり ドレミソ ミファソラ ミソド
 1235 1234 125
 弾きやすくなった 弾きやすくない 変わらない

(11)大きな栗の木の下で ドレミソ ミファソド ソラシド
 1235 1235 2345
 弾きやすくなった 弾きやすくない 変わらない

(12)お正月 ファソラド ドレファ ドファソラ
 1235 124 1345
 弾きやすくなった 弾きやすくない 変わらない